

琵琶湖沿岸での浸水被害を軽減

前線の影響で琵琶湖流域の累計降雨量は、7月3日21時の降り始めから7月6日12時現在までに220mmに達しました。これにより琵琶湖の水位は、B. S. L. -18cmから57cm上昇し、B. S. L. +39cm となり、更に現在も上昇を続けています。

独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所では、平成4年4月から琵琶湖開発施設の管理を開始して以降、9回目（初めて2年連続）の内水排除操作を実施しています。これは、琵琶湖沿岸にある低い土地が、琵琶湖からの逆流による浸水被害を受けることを軽減するための施設操作です。

現在、実施している内水排除操作は、次のとおりです。

- 1) 14箇所ある排水機場のうち8箇所のポンプ運転(6日12時現在)
- 2) 上記排水機場に関連する水門等の閉操作

本日から明後日(8日)にかけての近畿地方の降雨量が100~200mmと予想されていることから、今後も琵琶湖水位の上昇に伴い運転する排水機場は増える見込みです。

[補足] B. S. L. (琵琶湖基準水位) ±0cm = T. P. (東京湾平均海面) +84.371m

排水機場の位置等については、別添資料を参照してください。

平成30年7月6日



独立行政法人 水資源機構
琵琶湖開発総合管理所

発表報道機関

滋賀県報道機関

問い合わせ先

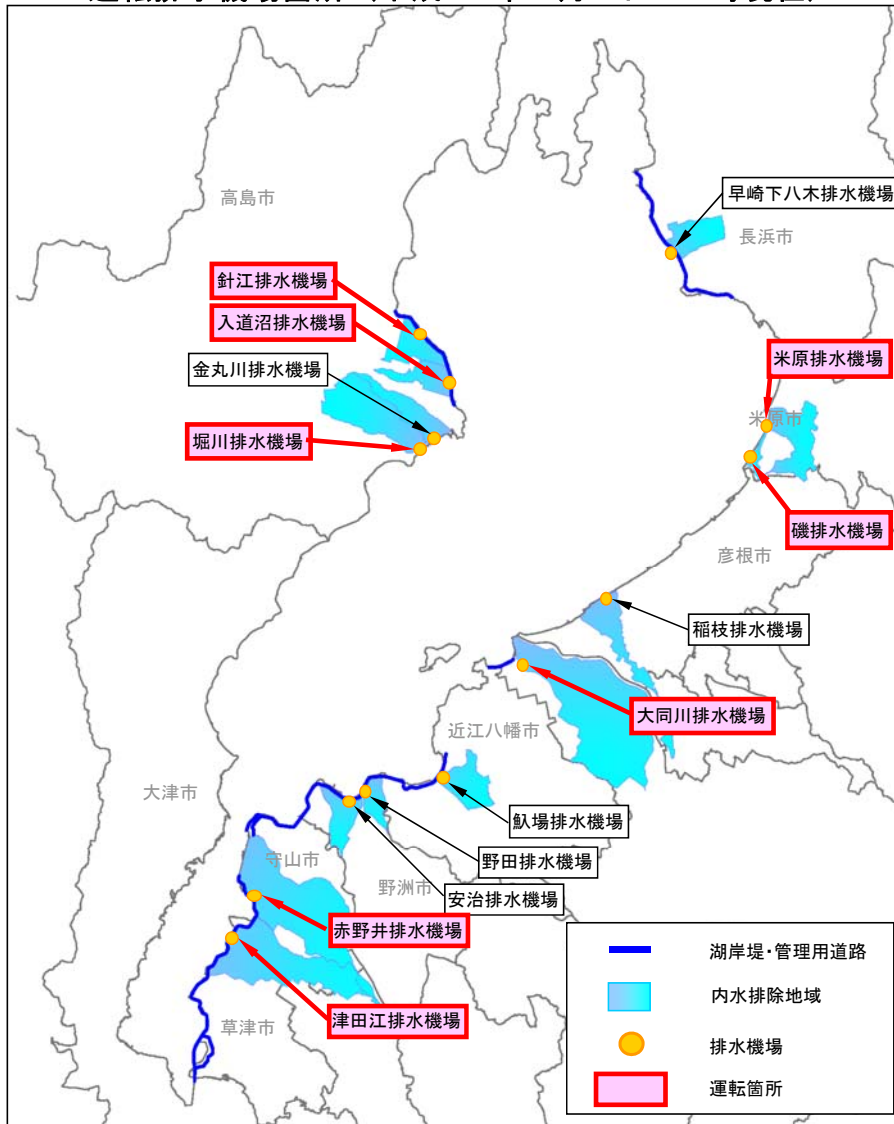
独立行政法人 水資源機構 琵琶湖開発総合管理所
総務課長 ほりぐち 堀口

住 所：大津市堅田2丁目1-10

電 話：077(574)0680

<http://www.water.go.jp/kansai/biwako/index.html>

運転排水機場箇所（平成30年7月6日12時現在）



区名	機場名	流域面積(km ²)	ポンプ能力(m ³ /s)	流域
早崎	ハヤサキシモヤギ 早崎下八木	4.9	4.0(2.0×2台)	早崎干拓地から田川の間
米原	マイバラ 米原	7.2	7.0(3.5×2台)	天野川から礪山の間
	イソ 磯	0.9	1.1(0.55×2台)	天野川から礪山の間
大同川	イナエ 稲枝	7.3	6.0(2.0×3台)	今川から愛知川の間
	ダイドウガワ 大同川	31.5	36.0(12.0×3台)	愛知川から大同川の間
近江八幡	エリバ 鰯場	6.5	1.0(0.5×2台)	津田江内湖干拓地から白鳥川の間
	ノダ 野田	3	1.0(0.5×2台)	日野川から家棟川の間
	アワジ 安治	4.5	1.0(0.5×2台)	家棟川から野洲川北流の間
守山	アカノイ 赤野井	20.9	6.0(2.0×3台)	六番川から新守山川の間
	ツダエ 津田江	12.2	4.0(2.0×2台)	新守山川から葉山川の間
安曇川	ハリエ 針江	3.4	5.0(2.5×2台)	田井川から南川の間
	ニュードウヌマ 入道沼	4.2	3.0(1.5×2台)	南川から神奈川の間
	カネマルガワ 金丸川	5.3	4.0(2.0×2台)	安曇川南流から県道四津川鴨川線の間
	ホリカワ 堀川	5.7	5.0(2.5×2台)	県道四津川鴨川線から鴨川の間
計		117.5	84.1	